

飯田ゼミ

飯田ゼミでは、毎回、次のような会話を分析・討論していきます。コミュニケーション能力と感情能力管理の向上を目指したコーチング研究ゼミです。

設定

母親—塾にいかせたい気持ちで一杯の気持ちで会話を始める、
子供—ゲームが終わったら、塾に行きたい気持ちで会話を始める、

なぜ、二人のコミュニケーションは悲慘な結果に終わったか？

>>>>>>>会話内容<<<<<<<<

リビング・ルームにて

母「早く塾に行きなさい、良夫」

良夫「もうちょっと、待って、ゲーム終わるから」

(30分後)

母「あんた、まだ、ゲームしてんの。何してんのよ。完全に遅刻じゃない。」

良夫「もうすこしで終わるって、ちょっと待って、」

母「うるさい、」コンセントを引き抜く。

良夫「何すんだよ、セーブできないじゃないか」

母「あんた、塾にいくらかかっているのか分かってんの。友達の名ちゃんは、きちんと行って、成績も上がってきて、有名中学にも入れるって言うじゃない。」

良夫「.....」

母「あなたのために思っていつてるのよ、言いたいことがあるなら、はっきり言いなさい」

良夫「俺だって、がんばれば、明ぐらいの点はとれるよ」

母「ふん、どうせ、できっこないわ、あなたっていつもそうなんだから。ついでに、クラスの中山って子と付き合うんじゃないわよ。いつも、塾の帰り、二人でスーパーでぶらぶらしているって聞いたわよ」

良夫「どこから、聞いたんだよ」

母「塾の先生からよ。この間、電話がかかってきてね。あんたは親の期待を裏切っただけかっているよ。もうたくさん、がっかりよ」

良夫「俺、もう塾、やめた。いかない」

母「勝手にすれば、お母さんはもう知りません。いかになくてもいいけれど、その代わり、これからは、おこずかいはありません。」

良夫「.....」母親をにらみながら、自分の部屋に入っていく。

二人は未来を閉ざした格好で会話を終えてしまいました。あなたなら、どのような会話を試みますか。毎週、違ったシーンで、よりよいコミュニケーションを目指した台詞を考えていきます。

興味があれば、10月17日（月）、

午後1時から2時30分の間に232教室まで来てください。